

肥後職人の技に迫る

～暮らしの知恵が生み出した県伝統工芸品～



講師
熊本県伝統工芸館
学芸員 杉井涼子氏

陶磁器 天草陶磁器…天草地方で焼かれる陶磁器

内田皿山焼、水の平焼、高浜焼、丸尾焼など。天草陶石を使った透明感ある磁器や、異質の釉薬の二重掛け技法を用いた海鼠(なまこ)釉や黒釉などの個性豊かな陶器が多い。

小代焼(荒尾市・南関町など)…味わい深い地釉に流し掛けの上釉がかかり素朴で力強い作風が特徴

高田焼(八代市)…成形した素地に文様を刻み、白い陶土を埋込む象嵌技法を使用。上品な色合いと端正な形状が特徴



陶磁器(天草陶磁器、小代焼、高田焼など)

肥後象がん

肥後象がん

製作工程(布目象嵌):下絵描き/布目切り/打ち込み/布目消し/叩きしめ/毛彫り/錆出し/錆止め/仕上げ
※象嵌は一つの素材に異質の素材を嵌め込む工芸技法。象は「かたどる」、嵌は「はめる」の意味

肥後象がんは、江戸時代初期に銃身や刀剣の鐶(つば)の装飾工芸として始まり、現在は多くは布目象がんの技法で製作。黒い鉄地の中に金銀の装飾が嵌込まれ、武家文化の伝統を感じさせる重厚感・高い品格を併せ持つ文具や装身具が作られている。

つば

鐶(伝統工芸館所蔵)
米光水平(人間国宝)作
(1888年～1980年)



さあ、展示室を見学しよう!

木工芸品
(指物(さしもの)、曲物(まげもの)手おけなど)

竹工品

(漁具(網丸)、農具、ざるなど)



講師を囲んで



紙・山鹿灯籠

やわがざりかわらざいく
屋根師瓦細工
(熊本藩巳字城市、熊本城の鯉瓦(しゅちがわら)製作)

玩具、手打ち刃物、木工具、竹工品など



さし馬・花手箱など 木葉猿 おぼけの金木 肥後てまり

指物(さしもの) 曲物(まげもの) ざる、農具、漁具など 包丁、鐶(のこ)、はさみなど

ミュージアムショップ 開館40周年記念
「工芸ショップ匠」(1階) ワークショップ&セミナー開催中
(2022年10月～2023年3月)
い草縄でメ師(作り)、写真家の視点から…、はじめての金継ぎ、スペイン象嵌と肥後象嵌…、染色のお話など…草木染体験など

工房、貸ギャラリーもあるよ!



肥後象がん作り

特別編

熊本城外周さるく

熊本県伝統工芸館は、熊本城外周コース東側不開門の真向かいに位置し、向かい側には木立の間に聳え立つ天守閣と小天守が見える。紅葉が美しい今の時期、県立美術館分館から熊本城稲荷神社、坪井川沿いに長堀前通り、行幸橋までさるきました。



長堀前通り



熊本城長堀

行幸橋

熊本城天守閣と小天守閣

うまや橋

熊本城稲荷神社

紅葉がきれい!!!

県立美術館分館

熊本県伝統工芸館

今回の講座は、熊本県伝統工芸館(熊本市中央区千葉城町)にて開催。講演の後、講師の案内で二階展示室を見学、肥後の文化を満喫しました。気候も良く、折角の機会でしたので近くの城下町界隈を歩いて見つけた観光スポットを特別編として紹介させていただきました。いっしょにお楽しみ下さい。(くまもと県民カレッジ広報ボランティア HK作成)